

各団体で大枠の検討 定量制ガイドライン

遊技産業活性化委員会の遊技機検討ワーキンググループが5月22日、日遊協会議室で開かれた。依存対策の1つに定量制の活用が挙げられていることから、日遊協が提案した「定量制営業のガイドラ



定量制営業のガイドライン等を審議した遊技機検討ワーキンググループ

イン(案)を討議した。現在、定量制営業ができていない自治体と認められていない自治体とがあつて全国的に判断がまちまちな点が指摘された。その結果、最終的には全国で定量制営業をできるようにする目標を確認したが、当面は日遊協案をたたき台に各団体で持ち寄つて大枠での修正点をまとめ、活性化委員会に提案することを確認した。定量制営業が依存防止に効果がある理由として、お客様は一定出玉の獲得で遊技終了(打ち止め)となるので、いったんクルダウンでき、通常より短時間での遊技、その結果として低投資となる可能性が指摘されている。

年内は26機種種の予定

「遊べるライトな遊技機」

日工組が進める「多種多様な遊技機の開発及び提供」について、開発状況などを日工組が組合員企業からアンケート調査した結果が報告された。「多種多様な遊技機」とは「遊べる遊技機」も含め

た確率200分の1ぐらいのライオンの性質の遊技機で、日工組は「やめ時がわかりやすい短時間で遊べる遊技機」「手軽に安価に遊べる初級者向け遊技機」など8種類を提示している。組合員企業には、これらの8種類に当てはまると思われる機種の開発状況や計画を回答してもらつた。アンケート結果によると、7〜9月に3機種、10〜12月に23機種、来年1〜3月に26機種、同4〜6月に24機種、同7月以降に39機種が登場するという予定になっている。

日工組では、これらの遊技機を各社が同時期に発売して店舗のコーナーにまとめられるように努め、活性化につなげたいとしている。委員会としては、各社の機種が登場するラインナップを具体的にまとめられないか、日工組に要望していくことになった。

健全化推進機構

計画以上の2300店舗

平成26年度の立入検査

一般社団法人遊技産業健全化推進機構(伏見勝代表理事)は5月13日、平成26年度通期(平成26年4月1日〜27年3月31日)の立入

検査活動の集計結果を各社員団体に報告した。

機構は誓約書を提出した店舗への随時、無通知の立入検査を行っており、26年度に検査したホール数は2300店舗(遊技機1958、計数器342)で、当初予定の2000店舗を上回つた。機械別の内訳は、パチンコ遊技機が1万3927台、回胴式遊技機が1万5493台、計2万9420台。計数機は玉が241台、メダルが126台、計367台だった。

検査を開始して以来8年間の立入検査実績を合計すると、遊技機で1万9249店舗、計数機で1717店舗、計2万966店舗だった。機械別では、パチンコ遊技機6万3562台、回胴式遊技機6万9786台、計13万3348台、計数機は玉が1455台、メダルが812台、計2267台となった。誓約書提出店舗数は本年3月末現在1万1576店舗なので、店舗数で見ると2順目が終わり、27年度から3順目に入ることになる。

機構は27年度の検査目標を前年度と同じく2000ホール(遊技機・計数器合計)としている。

遊技産業新経営者会議

実感ある「いい会社」とは 鎌倉投信(株)の 鎌田恭幸氏が講演

第9回遊技産業新経営者会議(担当理事・韓裕副会長、リーダー・西村拓郎理事)が5月28日、東京・渋谷の日拓ホーム(株)会議室で開かれ、日遊協会員企業の若手経営者・幹部30人が出席した。懇親会ではホール、メーカーなどの業種や企業の壁を越えて親交を深めた。

講演は「1人ひとりの意志あるお金が未来を拓く」鎌倉投信の経営理念と投資哲学」と題して、鎌倉投信(株)代表取締役社長、鎌田恭幸氏が行った。鎌田氏は信託銀行で20年以上資産運用業務に携わり、外資系信託銀行副社長のあと、2008年、仲間4人とベンチャー企業の鎌倉投信(株)を設立した。



講演する鎌田恭幸氏▶

鎌田氏は「リーマンショックで世界の金融が大混乱していた折に、日本株を投資対象にした投信会社を立ち上げるなんてバカかといわれました。でもわれわれは、日本は社会課題の先進国だから、社会

課題を解決する会社なら繁栄し永続すると考えました」と振り返った。その後、東日本大震災、円高、欧州の金融危機などに遭ったが、格付投資情報センターのような第三者機関から同社は運用パフォーマンスが良好と表彰された。鎌倉投信が投資を通じて多くの顧客に伝えてきた言葉は、シンブルに「いい会社を増やしましょう」というのは、本業を通じて社会に



「依存」と「遊技機」でディスカッションする参加者たち

貢献する会社であるということ。利益を生み出すことは当然だが、その過程でその会社に関わる人たち、例えば社員、家族、取引先、そういう人たちが実感をこめて『いい会社だね』といえるような会社が増えたらいい。働いている人が疲弊し、リストラが平気で行われるような会社が増えても日本の発展には役立たない」と述べた。

人材育成委員会の前田竜哉委員長が重点事業「女性活躍推進」を説明した。依存問題PTの安藤博文リーダーが「パチンコ店における依存(のめり込み)問題対応ガイドライン」を解説した。6班に分かれ、依存、遊技機問題で討論した。

貯玉補償基金臨時理事会

基本規程等を一部改正

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・庄司孝輝日遊協会長)は5月26日、本部会議室で臨時理事会を開き「貯玉補償基金基本規程等の一部改正」の件を審議した。

今回の議案は、センタ事業者への業務委託関係、事務処理に係る運営規約関係を制定・改正するもの。▽センタ事業者の加入ホールに対する責務を強化した基本規程の

改正

- ▽記録等の保管期間の下限の明確化などの委託規程の改正
 - ▽補償の実施の結果報告と補償額の支弁の明確化などの委託細則の制定
 - ▽決裁権限の整理などの運営規約の制定
 - ▽業務委託先の文書整理などの運営細則の制定
 - ▽株式等の文書整理の改正
- 以上の各改正内容が審議され、承認された。平成27年6月12日から実施される。

貯玉補償基金理事会

事業報告と計算書類承認

一般社団法人貯玉補償基金は5月13日、日遊協本部会議室で第62回理事会を開き、3議案を審議した。第1号議案は第9期(平成26年4月1日〜平成27年3月31日)事業報告及び計算書類に関する件で、報告どおり承認された。第2号議案は「定款」の一部訂正の件で、社員区分の明確化と社員負担金についての提案が承認された。第3号議案は、社員入社件で、日遊協の堀内文隆顧問の入社が認められた。



日工組「遊技機開発」で記者会見

「高い射幸性を排する」依存対策と活性化

日工組は5月18日、東京・京橋の本部で、「依存問題への対策と今後の遊技機開発等」をテーマに業界誌を集めた記者会見を開いた。日工組からは金沢全求理事長、渡辺圭市理事が出席した。

金沢理事長は、「これまでのようにつくりたいものをつくってほしい」という環境ではなくなった。メーカーは売り上げが上がる射幸性の高い機械をホールに提供してきたが、それがファンの減少と依存問題につながったと反省している」とし、「依存対策、活性化（ファンの掘り起し）の二つの大きな

テーマを、今後の機械づくり
に反映していく。
これから横断的組織の日遊協を中心に、お客様であ

る全日遊連、それに日工組、日電協と一緒に協議しながら対応していきたい」と述べた。

また、日工組はこれまでこの種の記者会見を行ってこなかったが、今後は積極的に会見を開き、日工組としての意見を社会や業界にアピールしていくとしている。

日工組の説明概要は次の通り。
▽依存問題 Ⅱ これまでは玉単価のある機械を提供してきたが、そのため2つの現象が起きた。すなわちファンの減少、射幸性の高い機械に依存するお客様だ。遊びという対価の割にあまりにも遊技代金がかかりすぎた。射幸性が高すぎることは依存問題が起る原因と認識した。遊技者の消費金額を抑えるため、大当たり確率の下限を従来の400分の1から320分の1にし、とりあえず初回の大当たりでしっかりと出玉がある仕様にしていく。

仕様の統一を図り安価に
▽活性化（ファンの掘り起し） Ⅱ 多種多様な遊技機をつくっていくが、

メーカーが単独でお金をかけてつくる時代ではなくなった。老舗のメーカーも倒産する時代で、みんな苦しい。コンテンツを使いたくても金がかかって使えない現状になりつつある。各メーカーが負担を等分し、仕様の統一を図って手軽に安価で遊べる機械をつくり、店のコーナーを占有するようにしたい。

機械づくりにあたっては、手間のかかる「内規の変更」ではなく、「申し合わせ事項」として臨機応変に対応していきたい。

▽現状のMAX機 Ⅱ 依存問題にかかわる機械はだんだんなくしていき、将来は市場から消す方向だ。日工組としては、この種の機械の販売は10月末の開店までとしている。全日遊連、日遊協と協議する中で、日工組は今の環境から見れば先に外していくのが望ましいと話している。しかし、全国組織の全日遊連にはこの意見が隔々の組合員まで浸透するのに時間がかかる。

▽ECO遊技機 Ⅱ 全日遊連にはまだ完全な理解を得られていないが、とりあえず説明責任は果たしたと認識し、今後も全日遊連と密に話

し合いを持ちながら開発を進める。一応共通本体でやりたいが、要は自身のゲーム性を変更しないとこれまでと同じ轍を踏むことになる。

PSIO・不正対策室会議

4月は762件の情報

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は5月20日、日遊協本部会議室で委員ら11人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2015年4月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は762件。業界から40件、一般ファンから722件の入力があり、この数か月と比較して100件余り多く、2014年4月と比べると91件増（2014年4月671件）となった。

ゴト情報では、ジャグラーのクレジット上げごことが注意される程度で、報告数は少なかった。不正情報では、相変わらず遠隔とするものが多いが、誤解に基づくケースが目立つ。誇大広告など写真付きで送信するケースが確実に増えている。

▼抱負を述べる東野代表理事

産業界5団体が総会開く

日本遊技産業経営者同友会

代表理事に東野昌一氏



東野昌一氏(株平成観光)を選出、さらに5人の副代表理事を選任した。

一般社団法人日本遊技産業経営者同友会(同友会)は5月13日、東京・上野のオーラムで定時社員総会を開き、平成26年度事業報告及び決算報告案と27年度事業計画及び収支予算案を承認した。役員改選で新しい代表理事に東野昌一氏(株平成観光)を選出、さらに5人の副代表理事を選任した。東野代表理事は「同友会には創設時から参画してきた。ここまでの同友会の形をつくってこられた松田前代表の意思を受け継いだ形で、業界の健全化、のめり込み、置引きなどの諸問題に、新たなメンバーで取組んでいきたい。新しい委員会では人・モノ・金をテーマに、次世代に役立つ方向で勉強していきたい」と抱負を述べた。

選任された副代表理事は次の通り。(敬称略)

▼再選された金沢全求理事長



再選された金沢全求理事長

金沢全求理事長ら再任

日本遊技機工業組合

平山剛、薛博夫、山本芳司、金光淳用(以上留任)、趙顕洙(新任)

日本遊技機工業組合(日工組)は5月25日、東京・千代田区のグラウンドアーク半蔵門で通常総会を開いた。平成26年度事業報告書及び決算関係書類を承認、「安心して遊べる

遊技機の開発・製造につとめる」など9項目の重点課題を掲げた27年度事業計画を承認した。さらに、
1、射幸性を抑えた取り組みを確実に実行し手軽で安価に遊べる遊技機の開発・製造に努めよう
1、不正事案を撲滅し安心できる遊技環境を構築するため不正に強い遊技機、不正を発見しやすい遊技機の開発を促進しよう

1、業界の将来を見据えたECCO遊技機の実現に向けての施策を推進しよう
1、コンプライアンスの徹底を図り自覚と責任を持って業界の健全化に努めよう

——等、4項目の決議を行った。

役員改選では、金沢全求理事長以下、3副理事長、専務理事、常務理事が再任された。

回胴式遊技機商業協同組合

伊豆正則理事長は6期目

回胴式遊技機商業協同組合(回胴遊商)は5月26日、東京・後楽園の東京ドームホテルで通常総代会を開き、平成26年度事業報告及び決算、27年度事業計画及び収支予算等を承認した。

事業計画では、①法令を順守し、健全な遊技機流通と犯罪防止を目的とした遊技機の適正な処理を目指す ②地域に根ざした支部活動の推進と信頼される地域貢献を目指す ③新たな時代に適応し組合員が希望の持てる業界構築を目指す——など3項目を目標に活動を推進するとしている。

役員改選では伊豆正則理事長は6期目を務めることになり、執行

部も再任された。

余暇環境整備推進協議会

笠井聰夫代表理事ら留任

一般社団法人余暇環境整備推進協議会(余暇進)は5月19日、東京・港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで定時社員総会を開き、平成26年度事業報告及び決算報告と、「業法制定を視野に入れつつ、現行法運営上の諸問題を研究・解決する」など5項目の行動目標を掲げた27年度事業計画及び収支予算をそれぞれ承認した。

任期満了に伴う役員改選が行われ、笠井聰夫代表理事以下全員が再任された。

遊技場自動サービス機工業会

吉村泰彦氏が副理事長に

一般社団法人遊技場自動サービス機工業会(自工会)は5月21日、東京・新橋の第一ホテル東京で定時総会を開き、平成26年度事業経過報告・収支決算報告を承認した。5項目の目標を掲げた27年度事業計画・収支予算案を承認した。

役員改選で吉村泰彦氏(JCMシステムズ株)が副理事長に選任された。

警察人事

高知県警人事 (2月20日) 警務部付・

辞職 (生安部長) 上村和宏▽生活安全
部長 (中村署長) 秋澤淳一▽生活環境
課長 (科捜研所長) 川村直也▽組織犯
罪対策課長兼意見聴取官兼保護対策官
(生環課長) 谷和洋

鳥取県警人事 (3月9日) 退職 (生安
部長) 牧野昌晴▽生活安全部長 (参事
官兼首席監察官) 安藤茂太郎▽生活安
全部参事官・生活環境課長課長扱 (中
国管区局) 本庄政文▽刑事部参事官・
捜査一課長扱・機動捜査隊長扱 (参事
官・生環課長扱) 竹森厚志

佐賀県警人事 (3月10日) 佐賀署長
(生安部長) 江口勝則▽生活安全部長
(唐津署長) 江口民雄▽生活環境課長
(知事部局) 井上義紀

栃木県警人事 (3月13日) 警務部付・
辞職 (生安部長) 鬼木精二▽生活安全
部長 (宇都宮東署長) 池澤文雄▽警察
学校長 (総括参事官・生安企画課長
扱) 知久彰仁▽生活安全全部総括参事
官・生活安全企画課長扱 (組対統括官
兼組対一課長) 高久仁

長崎県警人事 (3月13日) 長崎署長
(生安部長) 池田良文▽生活安全全部
(生安部首席参事官兼刑事部付) 川田
久美彦▽警務部参事官兼警務課長 (参
事官兼生企課長) 池田秀明▽生活安全
部参事官兼生活安全企画課長 (参事官
兼総務課長) 福山康博

三重県警人事 (3月16日) 警務部首席
参事官 警務課長 (生安部首席参事官

生安企画課長兼刑事部首席参事官)

堀主邦▽生活安全全部首席参事官 生活
安全企画課長兼刑事部首席参事官 (参
事官 監察課長) 田中健一

沖繩県警人事 (3月16日) 辞職 (生安
部長) 親川啓和▽生活安全全部 (名護
署長) 大城正人▽生活安全全部参事官兼
生活安全企画課長扱 (うるま署長) 浦
添朝裕▽警務部付・退職 (参事官兼生
安企画課長扱) 並里博

広島県警人事 (3月16日) 生活安全部
長 (福山東署長) 梶原恒志▽刑事部長
(生安部長) 山口俊彦▽警務部参事官
兼留置管理課長 (生環課長) 長澤和夫
▽生活環境課長 (通信司令官) 小西明

静岡県警人事 (3月16日) 刑事部長
(生安部長) 田中和生▽生活安全部長
(組対局長) 青島真範▽藤枝署長 (保
安課長) 伊藤喜章▽保安課長 (生安企
画課管理官兼次席) 鈴木剛

鹿児島県警人事 (3月16日) 生活安全
部長 (鹿児島西署長) 田島義郎▽刑事
部長 (生安部長) 仙名節男▽地域課長
(生環課長) 上村国彦▽生活環境課長
(錦江署長) 井手上博重

滋賀県警人事 (3月17日) 辞職 (生安
部長) 若林隆生▽生活安全全部長 (生安
部参事官兼刑事部参事官・生安企画課
長扱) 川島聡
山梨県警人事 (3月18日) 辞職 (生安
部長) 古屋一栄▽生活安全全部長 (参事
官兼首席監察官) 川崎雅明
愛知県警人事 (3月19日) 退職 (生安

部長) 川合隆善▽生活安全全部長 (南署
長) 中村正孝▽津島署長 (保安課長)
富田敏弘▽保安課長 (中副署長) 松木
博志

大阪府警人事 (3月19日) 保安課長
(近畿管区局) 山元正一▽警務部付・
退職 (保安課長) 宮崎光一
新潟県警人事 (3月23日) 生活安全部
長 (交通部長) 大和武彦▽刑事部長
(生安部長) 江口史朗▽警務部参事
官・総務課長扱 (参事官・生安企画課
長扱) 栗原良光▽生活安全全部参事官・
生活安全企画課長扱 (参事官・地域課
長扱) 中村栄

茨城県警人事 (3月23日) 生活安全部
長 (土浦署長) 森島貞一▽交通部長
(生安部長) 大澤瑞穂

富山県警人事 (3月23日) 生活安全部
長 (参事官・首席監察官) 松江一弥▽
辞職 (生安部長) 中木幹夫▽警務部参
事官・監察官室長 (参事官・生安企画
課長) 長森雅明▽生活安全全部参事官・
生活安全企画課長 (情管課長・情報セ
キュリティ室長) 佐々木秀一

北海道警人事 (3月23日) 辞職 (生安
部長) 平澤雅憲▽生活安全全部長 (中
央署長) 池田康則▽江別署長 (保安
課長) 一森則雄▽保安課長 (紋別署
長) 酒井正樹▽赤歌署長 (釧本生安
課長) 棚橋博一▽浦河署長 (旭本生
安課長) 植田昌宏▽旭川方面本部生活
安全課長 (サイバー犯罪対策課次席)
野村弘一▽釧路方面本部生活安全課長
(斜里署長) 越山真次▽ (3月31日)

退職 (函本生安課長) 高橋隆司▽ (4

月1日) 函館方面本部生活安全課長
(警察相談課長) 近江清

福島県警人事 (3月26日) 生活安全部
長 (首席監察官) 斎藤恒一▽刑事部長
(生安部長) 今泉満臣
岩手県警人事 (3月27日) 生活安全部
参事官兼生活安全企画課長 (北上署
長) 羽澤武志▽警務部付 (参事官兼生
安企画課長) 一方井文彦

宮城県警人事 (3月27日) 総務部長
(生安部長) 岡崎良則▽生活安全全部
(参事官兼首席監察官) 倉島英明▽生
活環境課長兼サイバー犯罪対策室長
(東北管区局) 佐々木健▽外事課長兼
国際テロリズム対策室長 (生環課長兼
サイバー犯罪対策室長) 佐々木幸志

京都府警人事 (3月27日) 総務部長
(生安部長) 蓑田一広▽生活安全全部
(参事官・警務課長扱) 山根弘行

約2200人が参列

木原一雄氏を偲ぶ会

大都販売(株)代表取締役会長で、
さる3月4日に死去した故・木原
一雄(李一雄)氏について、「木原一
雄を偲ぶ会」が5月18日、東京・
内幸町の帝国ホテル「孔雀の間」で
大都販売(株)、(株)大都技研の主催で
開かれた。遊技業界を中心に建設、
銀行等幅広い分野から約2200
人が参列した。木原氏は2000
年から12年まで一般社団法人遊技
場自動サービスマシ工業会(自工会)
理事長を務めた。

北海道支部拡大交流会

依存問題などの講演
 支部23人、本部登録31人
 日遊協北海道支部は5月15日、札幌市のホテルレオパレスで「北海道支部拡大交流会」を開き、松谷明良支部長以下59人が参加した。地元支部会員（14社23人）と本部登録会員（24社31人）が意見交換を含め交流を深めた。

松谷支部長は「北海道支部は本部推進事項を基に支部活動計画を着実に進めている。その一環としての今日の交流会を有効に活かしてほしい」と挨拶した。北海道警察本部長生活安全部保安課の渡部泰光課長補佐が「ばちんこ営業の健全化推進について」と題し、講話を行った。昼食懇談のあとセミナーが開かれ、依存問題PTの安藤博文リーダーが「依存問題・置き引き対策」について、支部ボランティア派遣隊の内匠亮太郎隊長が「ボランティア体験」について講演した。

北海道支部

新隊員2人に委嘱状
 ボランティア派遣隊
 北海道支部ボランティア派遣隊の委嘱状の交付が5月12日、札幌市の支部事務所で行われた。新隊員になった宮坂弥志（株ゼンリン）、寺澤恵介（株サッポロコウキ）の両氏に、松谷明良支部長から委嘱状が手渡

された。

愛知県ゴト対策協議会

器具のネット販売警戒

日遊協中部支部は4月7日、名古屋市の愛知県遊協役員室で「愛知県ゴト情報対策協議会」を開き、山口悟支部長以下セキユリティー対策部会員5人が出席した。愛知県遊協からは6人、岐阜、三重両県遊協から1人ずつ参加した。

「最近の電磁波ゴトでは、ゴト器具がネットで安く簡単に手に入るようになり、セミプロや一般客の犯行を警戒する必要がある」などそれぞれの団体からゴト事例が報告された。

新規入会

5月21日の第1回定例理事会で、日工組、日電協の団体加入以外に、正会員4社、賛助会員1社の新規入会が承認された。（敬称略）

●新規入会（正会員）

- ▼株式会社ベストアンサー
 代表取締役・石塚充利
 埼玉県川口市榛松1817-1
 販売。2010年設立。資本金4000万円。役員5人。社員8人。遊技機取扱主任者12人。東遊商、回胴遊商加盟。（推薦人・専務理事篠原弘志）
- ▼有限会社ティー・プロ
 代表取締役・大泉貴之
 福島県郡山市富田町字西44-8

販売。2000年設立。資本金700万円。役員4人。社員11人。遊技機取扱主任者6人。東北遊商加盟。（推薦人・株ニラク谷口久徳）

●代表者変更

- ▼株式会社ワークサポート
 代表取締役・前田真弓
 大阪市浪速区元町2-7-10
 販売。1990年設立。資本金500万円。社員4人。遊技機取扱主任者6人。関西遊商加盟。（推薦人・株三友竹若久子）
- ▼株式会社ときみ屋
 代表取締役・小林裕樹
 京都市伏見区竹田北三ツ抗町45
 アイビルビル41D
 販売。2009年設立。資本金300万円。役員1人。社員5人。遊技機取扱主任者1人。（推薦人・有リンクストウワン本吉和朗）

●新規入会（賛助会員）

- ▼株式会社テンバイイレブン
 代表者・河本祐介
 千葉市中央区中央2-8-5
 ジュピタービル9A11
 新台の設置等。2013年設立。資本金1000万円。役員3人。社員3人。（推薦人・株中商中村泰仁）

●社員変更

- ▼コカ・コーラ
 イーストジャパン株式会社
 （旧社名・東京コカ・コーラボトリング株）

DATA SPOT

パチスロ、辛うじて前年比プラス2万台

全日遊連は5月22日、店舗数、遊技機台数の2015年4月分を発表した。店舗数は前月3月と比較して13店減っている。1万558の店舗数は年間ペースだと昨年4月（1万847店）と比較して、この1年間で289店舗マイナスとなり、1年で約300店舗のペースで下降する傾向が続いている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス4万4633台（昨年4月273万4689台）となり、一方パチスロ機はプラス2万771台（昨年4月148万8842台）と前年を上回っているものの驕りが見える。

<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

| | 店舗数 | 前月比 |
|-----|------|-----|
| 北海道 | 275 | +5 |
| 東北 | 595 | +2 |
| 東京 | 618 | +5 |
| 関東 | 1788 | +18 |
| 中部 | 581 | +9 |
| 近畿 | 985 | +12 |
| 中国 | 340 | +6 |
| 四国 | 179 | +4 |
| 九州 | 681 | +11 |
| 全国計 | 6054 | +72 |

（2015年4月30日現在）

| 平成27年 | 営業店舗数 | 新規店舗数 | 廃業店舗数 | 休業店舗数 (当月発生分) | 遊技機台数 | | | 総台数 |
|-------|--------|-------|-------|------------------|-----------|-----------|------|-----------|
| | | | | | ばちんこ遊技機 | 回胴式遊技機 | ※その他 | |
| 1月 | 10,638 | 13 | 33 | 135 (20) | 2,699,996 | 1,507,334 | 156 | 4,207,486 |
| 2月 | 10,613 | 9 | 39 | 129 (9) | 2,690,969 | 1,504,884 | 156 | 4,196,009 |
| 3月 | 10,571 | 5 | 51 | 125 (12) | 2,689,043 | 1,505,010 | 156 | 4,194,209 |
| 4月 | 10,558 | 23 | 51 | 115 (11) | 2,690,056 | 1,509,613 | 156 | 4,199,825 |

▼大都販売株式会社
 代表取締役・木原茂成
 5月26日

▼住所等変更
 コスモ・イーシー株式会社
 東京都台東区東上野2-24-1
 トータテ上野ビル2F
 TEL03-58226-8670
 FAX03-58226-8671
 5月18日

▼住所変更
 株式会社日商インターライフ
 東京都荒川区東尾久4-16-12
 4月24日

4月20日

4月22日

4月

5月1日

5月18日

1～3月期指数発表 エンビズ総研

例年通りの業況上昇 稼働も4季ぶりに良好

(株)エンタテインメントビジネス

総研はこのほど、第60回パチンコ景

気動向指数(DI)調査報告書(1)

3月)をまとめた。収益・売上・粗

利などから判断される全般的業況

はマイナス21・1ポイントで、前回

より35・7ポイント良好化した。ただ

し、1～3月期は毎年業況が良好す

る傾向にあり、3か月後は36・7ポ

イントまで悪化が予想されている。

また、マイナス圏での推移は第47回

調査(11年12月時点)以降13期連続
となつている。(表1)

事業規模別では、小規模事業者

(1～3店舗)がマイナス53・3ポ

イント(前回比15・5良化)、中規模

事業者(4～10店舗)がマイナス31

ポイント(同29・9良化)、大規模事

業者(11店舗以上)がマイナス26・

3ポイント(同22・3良化)と、全事

業者で改善が見られた。(表2)

機械別の稼働状況では、パチンコ

はマイナス16・7ポイント(同38・7良化)、パチスロもマイナス18・9ポイント(同23良化)で、双方とも4期ぶりに良好化した。(表3)

貸玉/貸メダル料金別の稼働状

況では、4円パチンコはマイナス

18・2ポイント(同30・4良化)、20

円パチスロはマイナス17ポイント

(同33良化)で、ともにマイナス圏な

がら良好している。一方、低貸パチ

ンコは18・2ポイント(同30・4良

化)、低貸パチスロは8・3ポイン

ト(同31・2良化)とともにプラス

圏に上昇した。3か月後の見通しで

はどちらも悪化し、低貸パチスロは

マイナス圏に落ちるが、低貸パチンコはプラス圏を維持できると予想されている。(表4)

事業規模別に経営上の課題を見

ると、小規模事業者では「人材育成・

教育」「メーカーの遊技機販売の縛

り」「他の同業者との競争激化」、中

規模事業者では「人手不足・人材確

保」「メーカーの遊技機販売の縛り」

「他の同業者との競争激化」、大規模

事業者では「人手不足・人材確保」「人

材育成・教育」「他の同業者との競

争激化」がそれぞれ挙げられている。

内規改訂、見通し別れる

特集で「パチンコの内規改訂」に

ついて聞いた。日工組は内規を改訂

し、今年11月1日以降の新台納品分

で大当たり確率の下限値を400

分の1から320分の1に引き上

げる決定をしたが、確率下限値

320分の1のパチンコ機だけに

なった場合、パチンコの稼働にどの

ような影響が出そうかとの問いに、

遊技人口については「減る」が46・

7%ともっとも高く、次いで「変わ

らない」が41・7%だった。遊技頻

度については「変わらない」58・3%

「減る」21・7%、遊技時間について

は「変わらない」40%、「増える」28・

3%の順だった。

表1 ●全般的業況

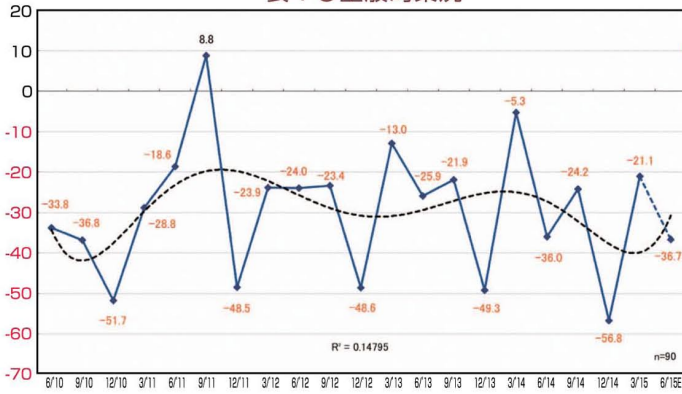


表2 ●規模別景況感

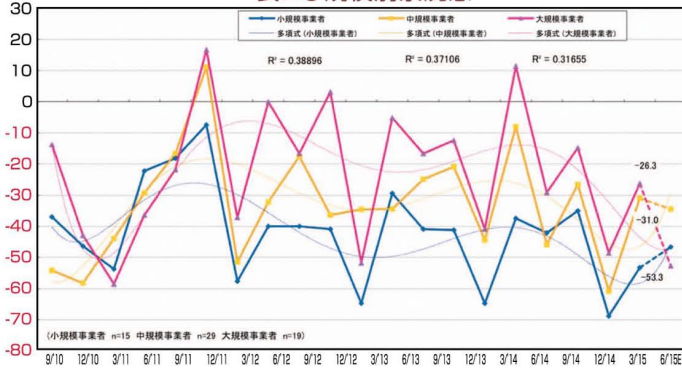


表3 ●稼働状況・パチンコ・パチスロ別

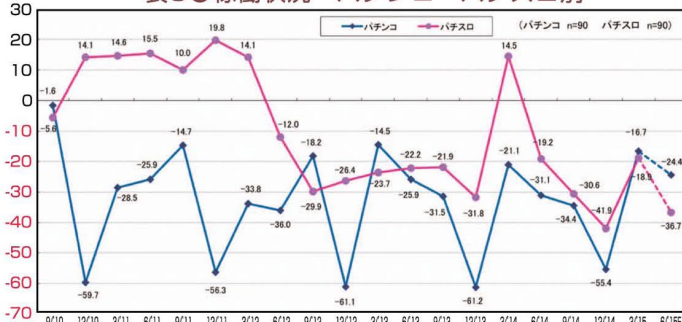


表4 ●稼働状況・貸玉料金別

